

デザインスタック

リベルタ / リベルタサンド

標準施工仕様書

アクリル樹脂系模様厚付装飾仕上材

自由で独創的なパターン

新感覚なパターンを思いのまま展開、美しい多様な雰囲気演出します。

優れた密着性

強固な塗膜は優れた密着があり、多くの素材下地に施工が可能です。

可とう性

耐衝撃性に強く、ヘアクラックに追従します。

防カビ性・防藻性

オプションにより高水準の防カビ・防藻性の機能を発揮します。

低汚染性・耐候性

低汚染性・耐候性に優れています。

適応下地

コンクリート、セメントモルタル、ALCパネル
スレート板
窒素系サイディングボード
石膏ボード(内装のみ)、木部合板
各種旧塗膜(活膜)など



内部・外部用

日本塗料工業会登録

リベルタ M04020 F☆☆☆☆

リベルタサンド M04021 F☆☆☆☆

メーコー株式会社

リベルタ
リベルタサンド

取得

性能試験表

JIS A 6909外装塗材Eによる物性試験

| 試験項目 | | 結果 | 規格 |
|-----------------|------|-----|---|
| 低温安定性 | | 合格 | 塊がなく組成物の分離・凝集がないこと。 |
| 初期乾燥によるひび割れ抵抗性 | | 合格 | ひび割れがないこと。 |
| 付着強さ | 標準状態 | 1.2 | 0.5N/mm ² 以上{12.3f/cm ² 以上} |
| | 浸水後 | 1.0 | 0.3N/mm ² 以上{10.3f/cm ² 以上} |
| 温冷繰り返し作用に対する抵抗性 | | 合格 | 試験体の表面に、はがれ、ひび割れ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。 |
| 対衝撃性 | | 合格 | ひび割れ及び著しい変形及びはがれがないこと。 |
| 浸水性A法 | | 0.1 | 1.0cm以下 |
| 耐候性A法 | | 合格 | ひび割れ及びはがれがなく、変色がグレースケール3号以上であること。 |
| 可とう性 | | 合格 | ひび割れ及びはがれがないこと。 |

○その他性能試験結果

| | | |
|---------------------|----|-----------------------|
| 耐汚染性(1年間本社村山工場にて暴露) | 良好 | 耐汚染性に優れている。△E=3 以内(白) |
|---------------------|----|-----------------------|

防火材料

国土交通省認定

| 認定番号 | 区分 | 品目名 | 通達番号 |
|---------|-------|------------------|-----------|
| NM-8572 | 不燃材料 | 有機質砂壁状塗料塗り/不燃材料 | 国住指第1936号 |
| QM-9812 | 準不燃材料 | 有機質砂壁状塗料塗り/準不燃材料 | 国住指第1941号 |
| RM-9361 | 難燃材料 | 有機質砂壁状塗料塗り/難燃材料 | 国住指第1946号 |

リベルタ
リベルタサンド

共通下地調整

□□ 新築の場合 □□

- コンクリート、セメントモルタル面の下地は十分に乾燥させて施工して下さい。
含水率10%、PH9以下
- 下地表面に巣穴、不陸、段差等がある場合、仕上がり面に影響しますので下地調整が必要になります。
部分補修には、ガードⅡ（内・外部兼用万能パテ）・カチオンタイト等をご使用下さい。
- 素地面のアルカリ性が強い場合は、MKマルチシーラーNANOをご使用下さい。
- ケイカル板（珪酸カルシウム板）等には、必ずMKニューケイカルシーラーを素地調整にご使用下さい。

□□ 改修の場合 □□

- 下地表面のゴミ、粉塵、エフロ等の汚れは高圧洗浄で清掃して下さい。
油性汚れの場合は中性洗剤にて予めおとしてから洗浄を行って下さい。
- 塗膜面に塗装される場合は下地塗膜の浮き、密着不良部分は全て除去し、MKマルチシーラーNANOを全面に塗布して下さい。
また下地の浮きの場合はエポ注入を行いモルタルで補修して下さい。
- 外部塗り替えの場合、下地塗膜のフクレ、ワレ、浮きの箇所は完全に除去し、劣化が著しい塗膜にはMKマルチシーラーNANOをご使用下さい。
- 内部壁面塗り替え塗装における、タバコのヤニ、雨ジミ等には、MKシミ止め（カチオン系特殊樹脂）にて下地処理を行って下さい。

□□ パテ処理 □□

- 内部塗装の下地調整は、メーカーパテ施工仕様書をご参照下さい。

フラット(ゆず肌)

| 工程 | 材料名 | 塗回数 | 塗布量 (kg/m ²) | 塗装間隔 | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 | |
|------|-------------|-----|-----------------------------|-------|-----|------------|-----------------------|--------------------------------|
| 下地調整 | | | | | | | | |
| 素地調整 | 共通下地調整 | | | | | | | |
| 下塗り | リベルタアンダーコート | 1回 | 0.15~0.2 | 3時間以上 | 水道水 | 0~10 | スプレーガン ウールローラー/刷毛 | |
| 主材吹き | リベルタ | 2回 | 1.0~1.3 | 6時間以上 | 水道水 | 0~10 | HSガン/万能ガン 口径:3~5mm | 吹き圧: 2~4kgf/cm ² |
| | | | | | | | リンガン 口径:3~5mm | 吹き圧: 2~4kgf/cm ² |

★塗装方法

下塗り :リベルタアンダーコートのスプレーガン、ウールローラー、刷毛などで塗り残しの無い様に均一にムラ無く塗ります。

主材吹き :全体に万遍なく粒を揃えて塗膜面が隠ぺいする様に吹いて下さい。

ライン

| 工程 | 材料名 | 塗回数 | 塗布量 (kg/m ²) | 塗装間隔 | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 |
|------|-------------|-----|-----------------------------|-------|-----|------------|----------------------|
| 下地調整 | | | | | | | |
| 素地調整 | 共通下地調整 | | | | | | |
| 下塗り | リベルタアンダーコート | 1回 | 0.15~0.2 | 3時間以上 | 水道水 | 0~10 | スプレーガン ウールローラー/刷毛 |
| 主材塗り | リベルタ | 1回 | 1.0~1.3 | 6時間以上 | 水道水 | 0~3 | 角ゴテ/ラスター刷毛 |

★塗装方法

下塗り :リベルタアンダーコートのスプレーガン、ウールローラー、刷毛などで塗り残しの無い様に均一にムラ無く塗ります。

主材塗り :角ゴテにて下地面が隠ぺいする様に均一に配り塗ります。直後に清水を含ませたラスター刷毛で一定方向に速やかにパターン付けを行います。パターンの手直しは仕上がりに影響するので行わないで下さい。

※面内での塗り継ぎが生じた場合、塗り継ぎのムラが起こりやすいので素早く施工して下さい。

約2m四方以内に装飾養生を設けて施工することをお勧めします。

シード

| 工程 | 材料名 | 塗回数 | 塗布量 (kg/m ²) | 塗装間隔 | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 |
|--------------|-------------|-----|-----------------------------|-------|-----|------------|----------------------|
| 下地調整 素地調整 | 共通下地調整 | | | | | | |
| 下塗り | リベルタアンダーコート | 1回 | 0.15~0.2 | 3時間以上 | 水道水 | 0~10 | スプレーガン ウールローラー/刷毛 |
| 主材塗り | リベルタ | 1回 | 1.0~1.3 | 6時間以上 | 水道水 | 8~12 | 砂骨ローラー |

☆塗装方法

下塗り : リベルタアンダーコートのスプレーガン、ウールローラー、刷毛などで塗り残しの無い様に均一にムラ無く塗ります。

主材塗り : 砂骨ローラーにて下地面が隠ぺいする様に均一に配り塗りします。直後に砂骨ローラーにて方向性が出ない様にランダム(無作為)にローラーパターン付けを行って下さい。

※塗布量・希釈率によってパターン模様が決まるので、予め試験施工を行って下さい。

スタック

| 工程 | 材料名 | 塗回数 | 塗布量 (kg/m ²) | 塗装間隔 | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 |
|--------------|---|-----|-----------------------------|-------|-----|------------|---|
| 下地調整 素地調整 | 共通下地調整 | | | | | | |
| 下塗り | リベルタアンダーコート | 1回 | 0.15~0.2 | 3時間以上 | 水道水 | 0~10 | スプレーガン ウールローラー/刷毛 |
| 主材吹き① | リベルタ サンドスタック | 1回 | 0.5~0.75 | 6時間以上 | 水道水 | 0~7 | スタックガン/万能ガン 口径: 4~8.5mm 吹き圧: 2~3kgf/cm ² (0.2~0.3MPa) |
| 主材吹き② | リベルタ サンドスタック | 1回 | 0.5~0.75 | 6時間以上 | 水道水 | 0~7 | |
| ヘッドカット | プラスチックローラーに塗料用シンナーを付け凸のヘッドを、塗膜表面が乾燥しない前に平らに押さえて下さい。 | | | | | | |

☆塗装方法

下塗り : リベルタアンダーコートのスプレーガン、ウールローラー、刷毛などで塗り残しの無い様に均一にムラ無く塗ります。

主材吹き ① 全体的にフラット吹きを行って下さい。

② 粒を散らしパターン吹きして下さい。

ヘッドカット : プラスチックローラーに塗料用シンナーを付け凸のヘッドを、塗膜表面が乾燥しない前に平らに押さえて下さい。

ウォーク

| 工程 | 材料名 | 塗回数 | 塗布量 (kg/m ²) | 塗装間隔 | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 |
|--------------|-------------|-----|-----------------------------|-------|-----|------------|----------------------|
| 下地調整 素地調整 | 共通下地調整 | | | | | | |
| 下塗り | リベルタアンダーコート | 1 | 0.15~0.2 | 3時間以上 | 水道水 | 0~10 | スプレーガン ウールローラー/刷毛 |
| 主材塗り | リベルタ | 1 | 1.0~1.3 | 6時間以上 | 水道水 | 0~3 | 角ゴテ/金ベラ |

☆塗装方法

下塗り : リベルタアンダーコートのスプレーガン、ウールローラー、刷毛などで塗り残しのない様に均一にムラ無く塗ります。

主材塗り : 角ゴテにて塗膜面が隠ぺいする様に均一に配り塗ります。直後にヘラ又は角ゴテで一定方向に押し付ける様に速やかにパターン付けを行います。パターンの手直しは仕上がりに影響するので行わないで下さい。

サークル

| 工程 | 材料名 | 塗回数 | 塗布量 (kg/m ²) | 塗装間隔 | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 |
|--------------|-------------|-----|-----------------------------|-------|-----|------------|----------------------|
| 下地調整 素地調整 | 共通下地調整 | | | | | | |
| 下塗り | リベルタアンダーコート | 1 | 0.15~0.2 | 3時間以上 | 水道水 | 0~10 | スプレーガン ウールローラー/刷毛 |
| 主材塗り | リベルタ | 1 | 1.0~1.3 | 6時間以上 | 水道水 | 0~3 | 角ゴテ |

☆塗装方法

下塗り : リベルタアンダーコートのスプレーガン、ウールローラー、刷毛などで塗り残しのない様に均一にムラ無く塗ります。

主材塗り : 直後に角ゴテで半円を連続で描くように速やかにパターン付けを行います。この時に少しコテを浮かせ気味にします。パターンの手直しは仕上がりに影響するので行わないで下さい。

PATTERN MAKING

サンド(骨材が小さいタイプ)と サンドL(骨材が大きいタイプ)がございます

クロスローズ

| 工程 | 材料名 | 塗回数 | 塗布量 (kg/m ²) | 塗装間隔 | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 |
|--------------|-------------|-----|-----------------------------|-------|-----|------------|----------------------|
| 下地調整 素地調整 | 共通下地調整 | | | | | | |
| 下塗り | リベルタアンダーコート | 1 | 0.15~0.2 | 3時間以上 | 水道水 | 0~10 | スプレーガン ウールローラー/刷毛 |
| 主材塗り | リベルタ サンド | 1 | 2.2~2.7 | 6時間以上 | 水道水 | 0~3 | 角ゴテ/金ゴテ/金ベラ |
| 主材塗り | リベルタ サンドL | 1 | 3.0~3.5 | 6時間以上 | 水道水 | 0~3 | 角ゴテ/金ゴテ/金ベラ |

☆塗装方法

※ カタログのパターンはリベルタサンドLにて施工しております

下塗り :リベルタアンダーコートのスプレーガン、ウールローラー、刷毛などで塗り残しの無い様に均一にムラ無く塗ります。

主材塗り :角ゴテにて下地が隠ぺいする様に均一に配り塗ります。直後に金ベラ又は金ゴテでランダム(無作為)方向に速やかにパターン付けを行います。面内での塗り継ぎを考え範囲を決めて配り塗りをして下さい。2名が組みになったの、主材塗り・パターン付けをお勧めします。
パターン手直しは仕上がりに影響するので行わないで下さい。

※希釈は淡色と濃色の場合で粘度が多少違いますので使いやすい%に調整して下さい。

※パターンサイズは使用器具によって異なります。

※塗布量は施工時の材料ロス分も含んでおりますので仕上がり面としての塗布量とは異なります。

レインドロップ

| 工程 | 材料名 | 塗回数 | 塗布量 (kg/m ²) | 塗装間隔 | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 |
|--------------|-------------|-----|-----------------------------|-------|-----|------------|----------------------|
| 下地調整 素地調整 | 共通下地調整 | | | | | | |
| 下塗り | リベルタアンダーコート | 1 | 0.15~0.2 | 3時間以上 | 水道水 | 0~10 | スプレーガン ウールローラー/刷毛 |
| 主材塗り | リベルタ サンド | 1 | 1.8~2.3 | 6時間以上 | 水道水 | 0~5 | 角ゴテ/木ゴテ |
| 主材塗り | リベルタ サンドL | 1 | 2.0~2.5 | 6時間以上 | 水道水 | 0~5 | 角ゴテ/木ゴテ |

☆塗装方法

※ カタログのパターンはリベルタサンドLにて施工しております

下塗り :リベルタアンダーコートのスプレーガン、ウールローラー、刷毛などで塗り残しの無い様に均一にムラ無く塗ります。

:下地が石膏ボードの場合はリベルタを下塗りにご使用される事をお勧めします。

主材塗り :角ゴテにて下地面が隠ぺいするように均一に配り塗ります。直後に木ゴテで石を動かすように縦方向に速やかにパターン付けを行います。面内での塗り継ぎを考え範囲を決めて配り塗りをして下さい。2名が組みになったの、主材塗り・パターン付けをお勧めします。
表面がしまってきたら押さえゴテを行って下さい。

※希釈は淡色と濃色の場合で粘度が多少違いますので使いやすい%に調整して下さい。

※パターンサイズは使用器具によって異なります。

※塗布量は施工時の材料ロス分も含んでおりますので仕上がり面としての塗布量とは異なります。

ストレイト

| 工程 | 材料名 | 塗回数 | 塗布量 (kg/m ²) | 塗装間隔 | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 |
|--------------|-------------|-----|-----------------------------|-------|-----|------------|----------------------|
| 下地調整 素地調整 | 共通下地調整 | | | | | | |
| 下塗り | リベルタアンダーコート | 1 | 0.15~0.2 | 3時間以上 | 水道水 | 0~10 | スプレーガン ウールローラー/刷毛 |
| 主材塗り | リベルタ サンド | 1 | 3.0~3.5 | 6時間以上 | 水道水 | 0~3 | 専用クシ金ベラ/角ゴテ |
| 主材塗り | リベルタ サンド L | 1 | 3.5~4.0 | 6時間以上 | 水道水 | 0~3 | 専用クシ金ベラ/角ゴテ |

☆塗装方法

※ カタログのパターンはリベルタサンドLにて施工しております

下塗り :リベルタアンダーコートをスプレーガン、ウールローラー、刷毛などで塗り残しの無い様に均一にムラ無く塗ります。

:下地がプラスターボードの場合はリベルタを下塗りにご使用される事をお勧めします。

主材塗り :角ゴテにて下地面が隠ぺいするように均一に配り塗ります。直後に専用クシ金ベラで横方向に定規を当て速やかにパターン引きを行います。面内での塗り継ぎを考え範囲を決めて配り塗りを行って下さい。

2~3名が組みになっての、主材塗り、パターン付けをお勧めします。

※希釈は淡色と濃色の場合で粘度が多少違いますので使いやすい%に調整して下さい。

パターンのサイズは使用器具によって異なります。

※塗布量は施工時の材料ロス分も含んでおりますので仕上がり面としての塗布量とは異なります。

アース

| 工程 | 材料名 | 塗回数 | 塗布量 (kg/m ²) | 塗装間隔 | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 |
|--------------|-------------|-----|-----------------------------|-------|-----|------------|----------------------|
| 下地調整 素地調整 | 共通下地調整 | | | | | | |
| 下塗り | リベルタアンダーコート | 1 | 0.15~0.2 | 3時間以上 | 水道水 | 0~10 | スプレーガン ウールローラー/刷毛 |
| 主材塗り | リベルタ サンド | 1 | 1.5~1.8 | 6時間以上 | 水道水 | 0~3 | 木ゴテ/角ゴテ |
| 主材塗り | リベルタ サンドL | 1 | 2.0~2.3 | 6時間以上 | 水道水 | 0~3 | 木ゴテ/角ゴテ |

☆塗装方法

※ カタログのパターンはリベルタサンドLにて施工しております

下塗り :リベルタアンダーコートのスプレーガン、ウールローラー、刷毛などで塗り残しの無い様に均一にムラ無く塗ります。

主材塗り :角ゴテにて下地面が隠ぺいする様に均一に配り塗ります。直後に木ゴテで石を動かすように直径30cm程度の円形にパターン付けを行います。面内での塗り継ぎを考え範囲を決めて配り塗りを行って下さい。2名が組みになっての、主材塗り・パターン付けをお勧めします。

表面がしまってきたら押さえゴテを行って下さい。

※希釈は淡色と濃色の場合で粘度が多少違いますので使いやすい%に調整して下さい。

※パターンサイズは使用器具によって異なります。

※塗布量は施工時の材料ロス分も含んでおりますので仕上がり面としての塗布量とは異なります。

ブリザード

| 工程 | 材料名 | 塗回数 | 塗布量 (kg/m ²) | 塗装間隔 | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 |
|--------------|-------------|-----|-----------------------------|-------|-----|------------|----------------------|
| 下地調整 素地調整 | 共通下地調整 | | | | | | |
| 下塗り | リベルタアンダーコート | 1 | 0.15~0.2 | 3時間以上 | 水道水 | 0~10 | スプレーガン ウールローラー/刷毛 |
| 主材塗り | リベルタ サンド | 1 | 1.5~1.8 | 6時間以上 | 水道水 | 0~3 | 刷毛箒/角ゴテ |
| 主材塗り | リベルタ サンドL | 1 | 2.2~2.5 | 6時間以上 | 水道水 | 0~3 | 刷毛箒/角ゴテ |

☆塗装方法

※ カタログのパターンはリベルタサンドLにて施工しております

下塗り :リベルタアンダーコートのスプレーガン、ウールローラー、刷毛などで塗り残しの無い様に均一にムラ無く塗ります。

主材塗り :角ゴテにて下地面が隠ぺいするように均一に配り塗ります。直後に固めの刷毛で石を動かすようにランダム方向に速やかにパターン付けを行います。面内での塗り継ぎを考え範囲を決めて配り塗りをして下さい。2名が組みになっての、主材塗り・パターン付けをお勧めします。

表面がしまってきたら押さえゴテを行って下さい。

※希釈は淡色と濃色の場合で粘度が多少違いますので使いやすい%に調整して下さい。

※パターンサイズは使用器具によって異なります。

※塗布量は施工時の材料ロス分も含んでおりますので仕上がり面としての塗布量とは異なります。

リップル

| 工程 | 材料名 | 塗回数 | 塗布量 (kg/m ²) | 塗装間隔 | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 |
|--------------|-------------|-----|-----------------------------|-------|-----|------------|----------------------|
| 下地調整 素地調整 | 共通下地調整 | | | | | | |
| 下塗り | リベルタアンダーコート | 1 | 0.15~0.2 | 3時間以上 | 水道水 | 0~10 | スプレーガン ウールローラー/刷毛 |
| 主材塗り | リベルタ サンド | 1 | 2.0~2.3 | 6時間以上 | 水道水 | 0~3 | 剣先ゴテ/角ゴテ |
| 主材塗り | リベルタ サンド L | 1 | 3.4~3.7 | 6時間以上 | 水道水 | 0~3 | 剣先ゴテ/角ゴテ |

☆塗装方法

※ かつらのパターンはリベルタサンドLにて施工しております

下塗り : リベルタアンダーコートのスプレーガン、ウールローラー、刷毛などで塗り残しの無い様に均一にムラ無く塗ります。

主材塗り : 角ゴテにて下地が隠蔽する様に3mm~4mmの厚みで均一に配り塗りを行います。

直後に剣先ゴテで横方向(又は縦方向)に長さ10mm~15mmのパターン付けを行います。

面内での塗り継ぎを考え範囲を決めて配り塗りを行って下さい。

2名が組みになったの主材塗り・パターン付けをお勧めします。

※希釈は淡色と濃色の場合で粘度が多少違いますので使いやすい%に調整して下さい。

パターンのサイズは使用器具によって異なります。

※塗布量は施工時の材料ロス分も含んでおりますので仕上がり面としての塗布量とは異なります。

□□ 施工上の注意事項 □□

- 気温5℃以下、湿度90%以上、風速5m/sec以上及び降雨、降雪が予測される場合は施工を見合わせて下さい。又、施工中は換気に注意して取り扱って下さい。
- 気温が高く直射日光が当たっている部位では表面乾燥が早くなりますので塗装を避けるか、シートなどで覆い日陰での施工をお勧めします。
- 事前に施工作業者全員で試し塗りをを行い、パターンの統一及び施工工程などの条件を決めて下さい。
- 塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますのでご注意下さい。
- 使用器具等は施工前、後に必ず洗浄して下さい。
- 使用中には缶の壁面に付着した材料が中に混入しない様をお願いします。
パターンに影響しますので表面が乾かないようにご注意下さい。
- 材料の保管は、直射日光及び凍結が心配される5℃以下での貯蔵はさけて下さい。

安全衛生上の詳細な注意事項は、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

荷 姿

| 製品名 | 容量 |
|-------------------|---------|
| リベルタ | 20kg石油缶 |
| リベルタ・サンド | 20kg石油缶 |
| リベルタ・サンドL | 20kg石油缶 |
| リベルタ・スタッコ（専用骨材使用） | 20kg石油缶 |
| リベルタ・アンダーコート | 20kg石油缶 |

※防火認定使用についてはお問い合わせ下さい。

関連製品(下地/素地調整材)

SEALER

- MKニューケイカルシーラー 14ℓ (多孔質素地専用処理剤
特殊合成樹脂エマルジョン型)
- MKマルチシーラーNANO 14ℓ (浸透型水性カチオンシーラー)

SEALER/FILLER

- MKシミ止め 15kg/4ℓ (水系・カチオン系特殊樹脂・速乾型)

PUTTY

- ガードⅡ 12ℓ/2.5ℓ (内外部兼用万能型補修材)
(アクリル系シリコンパテ)
- カチオンタイト 16kgセット (セメント/ポリマー複合体)

※下地調整等についての詳細は営業本部までお問い合わせ下さい。

メーカー株式会社

営業部 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-9-8
TEL 03-6451-1421 FAX 03-6451-1420

工場 〒189-0003 東京都東村山市久米川町5-33-1
TEL 042-393-2345 FAX 042-395-3253